

学部優秀部門奨励金

(経済学部 2020年3月卒業)

## 学生生活4年間を振り返って

私は甲南大学での4年間を振り返って、実に有意義な時間を過ごせたと考えています。

入学したての1年生の時は、履修の組み方や周りの環境に慣れない状況でした。しかし、大学側から定期的に授業内容のガイダンスを行ってくださることにより、授業面でのサポートが充実していたことや、ゼミなどの少人数制の授業が多くあることにより、友人が作りやすい環境を整えてくださったことが良かったです。こういった大学生活を送るにあたっての環境面が充実していることが甲南大学の魅力だと私は考えています。

私は、4年生になると就職活動が始まるので、3年生の時までに単位をすべて取り終えようと逆算して履修計画を立てました。そのためにも、行き帰りの電車内での授業の予習復習や日々の勉強、スキマ時間の活用など時間を有効活用するように努めました。結果として、3年生までにすべての単位を取り終わり、4年生には就職活動に専念することができました。また、内定後の時間の使い方も重要であると考えています。もちろん、時間に余裕のある学生の時にしかできない卒業旅行に行くことや、趣味に没頭するのも良いでしょう。しかし、就職に向けての準備も忘れてはならないということです。私は、小売業に就職するので、販売士の資格を取得したり、小売業界の動向についての知識の習得に努めました。このように、就職までの残り時間を有意義に使うことも大事だと考えています。

私は、3年生のときに甲南100周年記念荣誉特待生の学部優秀部門に選出されました。ここで、皆さんに伝えたいことは、「**当たり前**のことを**当たり前**にしよう」ということです。私が特待生に選出されたのは、もともと私が秀でた学力を持っているからではありません。日々の努力の積み重ねの結果だと私は考えています。例えば、出された課題は期限内に提出することや、試験勉強をコツコツとまじめに取り組むといったことです。たったこれだけのことです。このことは学業のみではありません。アルバイトをしている人はきちんと時間通りに出勤することや、毎日挨拶をきちんとする。そういった、**当たり前**のことを**当たり前**にできる人が社会に出たときに評価されるでしょう。私はこのことをモットーに日々を送っています。そして、荣誉特待生制度は、甲南大学のOB・OGをはじめ、様々な方からの募金によって発足した制度です。ぜひ、後輩の方々にも**当たり前**のことを**当たり前**にすると意識して大学生活を送ってほしいと思いますし、それが卒業生の方々の本望でもあるでしょう。

甲南大学での4年間を通して、数えきれないくらい様々な学びや出会いがありました。これらの甲南大学で学んだことを糧に、今後、社会人として活躍していきたいと思っています。本当に4年間ありがとうございました。